

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	教科書	高等学校 現代の国語(第一学習社)
講座名	現代の国語	科目名	現代の国語			副教材	現代評論選(数研出版) 新しい常用漢字(数研出版) 読む問題集(明治書院) 新国語総合ガイド(京都書房)
単位数	2単位	区 分	必修				
年 次	1年次	形 態	クラス単位				
担当者名	井口理優 大草頌子 佐々木暁						

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
間の感覚		ものとことば	「文化」としての科学	現代の「世論操作」	不均衡な時間
近代化と世間(現代評論選)		日本語は世界をこのように捉える	文明の矛盾(現代評論選)	フェアな競争	ロビンソンの人間と自然
		日本語の国際性(現代評論選)	社会に生きる科学(現代評論選)	グローバリズムとニヒリズム(現代評論選)	集団への個の解体(現代評論選)
漢字の学習(新しい常用漢字)		漢字の学習(新しい常用漢字)	漢字の学習(新しい常用漢字)	漢字の学習(新しい常用漢字)	漢字の学習(新しい常用漢字)
読む問題集		読む問題集	読む問題集	読む問題集	
第1定期考査		第2定期考査	第3定期考査	第4定期考査	第5定期考査
定期考査までの授業時数	10時間	14時間	14時間	14時間	18時間

評価	観点		方法	基準		
	知識・技能	思考・判断・表現		A	B	C
評価	知識・技能	本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。	考査得点、小テスト得点	本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立てや接続についてよく理解し、得られた知識を活用できている。	本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立てや接続についてある程度理解できている。	本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立てや接続についての理解に乏しい。
	思考・判断・表現	自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。	考査得点、小テスト得点	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができている。情報を相互に関係付けながら書き手の意図まで解釈し、構成や論理展開を評価することができる。	内容や構成、論理の展開を一応捉え、要旨を把握することができる。情報を相互に関連付け、内容を理解することができる。	内容や構成、論理の展開を捉えることができていない。情報を関連付けることによる内容の解釈に不十分な点がある。
	主体的に学習に取り組む態度	情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	授業観察、課題等の提出、学習状況に対する振り返りシートの提出・記述内容、発表活動への取組	情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	情報と情報を対比させながら展開する評論を読み、論理の展開を分析しようとしている。	情報と情報を対比させながら展開する評論を読もうとしていない。

日常の学習方法	予習を心がけ、授業中に内容を理解し、授業日に復習する姿勢をとること。
---------	------------------------------------

大学受験や発展的な内容との関連	本文を読んで理解することができる。的確に情報を伝えることができる。
-----------------	-----------------------------------

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	教科書	高等学校 言語文化(第一学習社)
講座名	言語文化	科目名	言語文化		副教材	完全マスター-古典文法(第一学習社) 新明説漢文(尚文出版) 古文単語330(いっすな書店) 漢文名文選(筑摩書房) 新国語総合ガイド(京都書房)
単位数	3単位	区 分	必修			
年 次	1年次	形 態	習熟度別授業			
担当者名	井口理優 大草頌子 齋藤美帆 佐々木暁 春田和彦 元木明					

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
品詞		徒然草	土佐日記	徒然草	枕草子
動詞の活用		漁夫之利	伊勢物語	和歌	平家物語
なよ竹のかぐや姫		狐借虎威	史伝	史伝	漢詩・思想
絵仏師良秀		形容詞・形容動詞			
訓読に親しむ		補助動詞	助動詞の学習	助動詞の学習	敬語の学習
		漢文句法			
第1定期考査		第2定期考査	第3定期考査	第4定期考査	第5定期考査
定期考査 までの 授業時数	12時間	15時間	18時間	24時間	27時間

	観点	方法	基準			
			A	B	C	
評価	知識・技能	我が国の言語文化の特質について理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	考査得点、小テスト得点	我が国の言語文化の特質についてよく理解して知識を活用できている。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係についてよく理解し、得られた知識を活用できている。	我が国の言語文化の特質についてある程度理解できている。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係についてある程度理解できている。	我が国の言語文化の特質についての理解に乏しい。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係についての理解に乏しい。
	思考・判断・表現	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しんで内容を理解しようとしている。 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解している。	考査得点、小テスト得点	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を十分に理解している。 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を十分に理解している。	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しんで理解しようとしているが、不十分な面がある。 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を理解しようとしているが、不十分な面がある。	古典の世界に親しむことの意義を理解していない。 古典としての漢文を読むことの意義を理解していない。
	主体的に学習に取り組む態度	これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していこうとしている。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	授業観察、課題等の提出、web配信による練習問題への取り組み	これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していこうとしている。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していこうとしている。 我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。	我が国の言語文化を継承していくことについて関心がみられない。 我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を持っていない。

日常の学習方法	予習を心がけ、授業中に内容を理解し、授業日に復習する姿勢をとること。小テストへの準備を怠らないこと。	大学受験や発展的な内容との関連	本文を読んでして理解することができる
---------	--	-----------------	--------------------

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	教科書	文学国語 筑摩書房
講座名	文学国語	科目名	文学国語		副教材	高校生必修語彙ノート 入試漢字コア2800 速読×多読2 現代評論選
単位数	2単位	区 分	学校必修			
年 次	2年次	形 態	クラス単位			
担当者名	青木 齋藤					

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
教科書 小説のポイント 教科書 山月記 教科書 バイリンガリズムの政治学 補助教材 高校祭必修語彙ノート 入試漢字コア2800 速読×多読2	教科書 神様 教科書 神様2011 教科書 実体の美と状況の美 教科書 メディアの倫理 補助教材 高校祭必修語彙ノート 入試漢字コア2800	教科書 ころこ 教科書 情報の彫刻 教科書 死者の声を運ぶ小舟 補助教材 高校祭必修語彙ノート 入試漢字コア2800	教科書 魂込め 教科書 建築論ノート 教科書 論語一私の古典 補助教材 高校祭必修語彙ノート 入試漢字コア2800	教科書 沈黙 教科書 陰影礼賛 教科書 絵画は紙幣に憧れる 補助教材 高校祭必修語彙ノート 入試漢字コア2800	
定期考査までの授業時数	9時間	9時間	10時間	9時間	10時間

評価	観点		方法	基準		
	知識・技能	思考・判断・表現		A	B	C
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や働きについて理解を深めることができる。 我が国の言語活動に関する知識・技術が身につく文学的な文章と言語活動ができる。 人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 	定期考査・課題テスト・小テスト	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や働きについて理解を十分深めることができる。 我が国の言語活動に関する知識・技術が身につく文学的な文章と言語活動が十分達成できる。 人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を十分深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や働きについて理解を深めることができる。 我が国の言語活動に関する知識・技術が身につく文学的な文章と言語活動に課題がある。 		
思考・判断・表現	文学的な文章について、作品をふまえて考察を深めることができる。	定期考査・課題テスト・小テスト	文学的な文章について、作品をふまえて考察を深めることが十分にできる。	文学的な文章について、作品をふまえて考察を深めることができる。	文学的な文章について、作品をふまえて考察を深めることに課題がある。	
主体的に学習に取り組む態度	課題の提出や積極的な学修への取り組み評価することが求められている。	授業観察、課題等の提出、学習状況に対する振り返りシートの提出・記述内容、発表活動への取組	課題の提出や積極的な学修への取り組みが十分にできている。	課題の提出や積極的な学修への取り組みができている。	課題の提出や積極的な学修への取り組みに課題がある。	

日常の学習方法	予習を心がけ、授業中に内容を理解し、授業日に復習する姿勢をとること。小テストへの準備を怠らないこと。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	本文を読んでして理解することができる。週末課題や発展的な課題に積極的に取り組み、向上心を持って学力向上に努める。
-----------------	--

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	教科書	精選古典探究(古文編・漢文編)
講座名	古典探究	科目名	古典探究			副教材	完全マスター古典文法 親明説漢文 練成古典 漢文用字練習シート
単位数	3単位	区 分	学校必修				
年 次	2年次	形 態	習熟度別授業				
担当者名	青木遼子 荻野恵 齋藤美帆 齋藤美穂 春田和彦 元木明						

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
古文 『古今著聞集』 『更級日記』 漢文 『韓非子』 『史記』	古文 『大鏡』 漢文 『史記』	古文 『枕草子』 『源氏物語』 漢文 『孟子』 『老子』 『韓非子』	古文 『源氏物語』 漢文 『漁父辞』 『桃花源記』	古文 『俊賴髓脳』 『玉勝間』 『徒然草』 漢文 『史記』 「荊軻伝」	
定期考査 までの 授業時数	12時間	12時間	12時間	12時間	12時間

評価	観点	方法	基準		
			A	B	C
知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	学習指導要領の[知識及び技能]について指導したことを評価する。	定期考査・課題テスト・小テスト	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることが十分にできている。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることに課題がある。
	学習指導要領の[思考力、判断力、表現力等]について指導したことを評価する。	定期考査・課題テスト・小テスト	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが十分にできている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることに課題がある。
	学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。	授業観察、課題等の提出、学習状況に対する振り返りシートの提出・記述内容、発表活動への取組	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が十分にできている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度がついている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度に課題がある。

日常の学習方法	予習を心がけ、授業中に内容を理解し、授業日に復習する姿勢をとること。小テストへの準備を怠らないこと。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	本文を読んでして理解することができる
-----------------	--------------------

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	近代以降の様々な文章を読み、考えを深める。 読んで考えたことを表現し、伝える力を高める。 評論文に重点をおいて、読解力を高める。 様々な文章の主題と論理の構成を的確にとらえる力を高める。	教科書	精選現代文B (筑摩書房)
講座名	現代文(3年)	科目名	現代文B			副教材	高校生必修語彙ノート (桐原書店)
単位数	2単位	区 分	学校必修				演習入試漢字コア2800 (桐原書店)
年 次	3年次	形 態	クラス単位				現代文単語 (いづな書店)
担当者名	1組 中西 2組 大草 3組 大草 4組 中西 5組 大草 6組 倉股 7組 倉股 8組 中西						

学校行事	第1学期	<第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期	木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期
授業内容	近代小説読解「舞姫」	評論読解「ことばへの問い」「物語としての自己」	夏季休業期間	評論読解「ものごと」	評論読解「貨幣共同体」	冬季休業期間	大学入試共通テスト直前問題演習
	随筆・小説読解演習	評論読解演習(言語・哲学)	共通テスト過去問題古典演習	評論読解演習(言語・哲学)	評論読解演習(近代社会)	大学入試過去問題演習	私大入試直前演習
	漢字・語彙テスト	漢字・語彙テスト	私大現代文評論過去問題演習	漢字・語彙小テスト	漢字・語彙テスト		国公立二次記述問題演習
	共通テスト過去問題本試験	共通テスト過去問演習	私大古典過去問題演習	共通テスト過去問題演習	共通テスト過去問題		
	第一定期考査	大学入試過去問題演習		大学入試過去問題演習	大学入試過去問題演習		
		第二定期考査		第三定期考査	第四定期考査		
定期考査までの授業数	8時間		8時間		8時間		時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	<p>○意欲をもって授業に取り組むことができる。</p> <p>○授業内容を十分に理解できている。</p> <p>○小テスト、定期考査および問題集の取り組み、授業や課題学習を通して、読解力と表現力を高められたかどうか。</p>
---------------	---

日常の 学習方法	<p>①授業は講義・演習を中心とする。</p> <p>②家庭学習では、語句の確認、教材の読解、練習問題を解くこととする。</p>
-------------	--

大学受験や 発展的な内 容との関連	<p>大学受験に必要な読解力・表現力を養う。文章の読解により、近代の発生と時代的特色を理解し、現代が抱える諸問題を考察する態度を身につける。様々な分野の文章を読むことで、他教科にも応用できる力をつける。</p>
-------------------------	---

令和5年度(2023年度) 授業計画				目 標	文章の構成を捉え、内容を正確に理解する力を身につける。 出題者の意図を踏まえ、的確な答えを導き出せるようになる。 近代以後の様々な文章を読み、考えを深める。	教科書	精選現代文B
講座名	現代文演習	科目名	現代文演習			副教材	入試につながる現代文（ラーズ） 新国語問題集アシスト第22集 現代文編（京都書房） 評論・小説を読むための新現代文単語（いっずな書店）
単位数	2	区 分	自由選択				
年 次	3年次	形 態	演習形式				
担当者名	倉股・中西						

学校行事	第1学期 遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期 木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期 <第5定期考査>	
授業内容	語彙の確認 問題演習 入試につながる現代文（ラーズ） 新国語問題集アシスト第22集 現代文編（京都書房） 第一定期考査	考査問題解答と復習 語彙の確認 問題演習 入試につながる現代文（ラーズ） 新国語問題集アシスト第22集 現代文編（京都書房） 第二定期考査 考査問題解答と復習	夏季休業期間	問題演習 入試につながる現代文（ラーズ） 新国語問題集アシスト第22集 現代文編（京都書房） 第三定期考査	考査問題解答と復習 問題演習 入試につながる現代文（ラーズ） 新国語問題集アシスト第22集 現代文編（京都書房） 第四定期考査 考査問題解答と復習	冬季休業期間 問題演習 入試につながる現代文（ラーズ） 新国語問題集アシスト第22集 現代文編（京都書房） 個別指導
	定期考査までの授業数	時間	時間	時間	時間	時間

実カテスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	○授業に集中して取り組み、意欲を持って授業に取り組むことができたか。 ○授業内容を十分に理解することができたか。 ○現代文の総合的な読解力を身につけることができたか。 等を評価の観点とする。 定期考査、小テスト、授業への取り組み状況などにより評価する。
---------------	--

日常の 学習方法	①演習を通じて、読解力を養う。 ②語彙の定着をはかるために、副教材を用いて確認を行う。
-------------	--

大学受験や 発展的な内容との関連	①これまでに身につけた読解力・問題解答力をさらに伸ばし、大学入試問題に対応できる学力をつける。 ②様々な文章に触れることで理解力を深め、また自身で考えてみることによって思考力を鍛える。
---------------------	---

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	古典を読む能力を養い、人生を豊かにする態度を育てる。 問題演習によって難度の高い大学入試問題に対応できるようにする。 古文・漢文の入試問題集を解き、共通テスト試験の得点率80%以上を目指す学力を養う。	教科書	精選古典B(東京書籍)高等学校古典A(第一学習社)
講座名	文系古典探究B	科目名	文系古典探究			副教材	第一学習社『完全マスター古典文法』尚文『新明説漢文』『完成古典』『和歌の力がつくノート』 いいずな書店『古文単語330』京都書房『新国語総合が'イト』『スタディーアーク古典3』 桐原『知識問題完全攻略』Z会『ペーパーマスター』『パワーマックス』 数研『まぎらわしい語の識別マスターノート』
単位数	4単位	区 分	自由選択				
年 次	3年次	形 態	少人数				
担当者名	荻野・倉股・佐々木・中西・元木						

学校行事	第1学期	遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期	木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期	<第5定期考査>		
授業内容	古文文法・漢文句法 基本演習	(古文)『大鏡』 「関白は次第のままに」「二葉の葵」	(古文)『源氏物語』 「車争い」「須磨」など	夏季休業期間	(古文)『源氏物語』 宇治十帖など	冬季休業期間	共通テスト直前問題演習	共通テスト直前問題演習		
	(古文)『大和物語』 「いはでおもふ」	『とりかえばや物語』 「若君の結婚」	(漢文)『完壁帰趙論』 『完壁帰趙』	共通テスト問題夏期講習	(古文) 評論『三冊子』 『源氏物語』など	共通テスト問題冬期講習	私大入試直前演習、 二次記述問題演習	私大入試直前演習、 二次記述問題演習		
	『落窪物語』 「落窪の君」「姫君の苦難」	(漢文)『答陳商書』 「売鬼」	入試問題による演習	実戦問題夏期講習	(漢文)『織女・蟻王』	実戦問題冬期講習				
	(漢文)『答陳商書』 「売鬼」	ベーシックマスター問題集 スタディーアーク古典3(古文・漢文)	入試問題による演習		センター試験過去問題本試験	入試問題による演習				
	ベーシックマスター問題集 スタディーアーク古典3(古文・漢文)	ベーシックマスター問題集 スタディーアーク古典3(古文・漢文)	センター試験過去問題本試験		スタディーアーク古典3(古文・漢文)	センター試験過去問題本試験 パワーマックス				
	文法小テスト	文法小テスト	文法小テスト		文法小テスト	文法小テスト				
	第一定期考査	第二定期考査	第三定期考査		第四定期考査					
定期考査までの授業数	18時間		20時間		18時間		20時間		4時間	

実カテスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	文法事項、句法などの理解が深められたか。語彙力がついたか。総合的な読解力がつき、作品を鑑賞できたか。 定期考査、小テスト、授業に対する取り組み等による。
---------------	---

日常の 学習方法	①授業中 演習形式を中心に、講義形式も取り入れ、小テストや、問題集もおこなう。 ②家庭学習 十分な予習と復習を求める。
-------------	--

大学受験や 発展的な内容との 関連	授業および家庭学習教材として、大学入試過去問題を利用する。
-------------------------	-------------------------------

令和5年度(2023年度) 授業計画				目 標	古典を読む能力を養い、人生を豊かにする態度を育てる。 主に国立理系志望生徒の共通テスト対策を目的とする。 古文・漢文の入試問題集を解き、共通テストの得点率80%以上を目指す学力を養う。	教科書	精選古典B 古文編・漢文編(東京書籍)
講座名	理系古典	科目名	古典B			副教材	完全マスター古典文法(第一学習社) 必携 新明説漢文(尚文出版) 新国語総合ガイド(京都書房) いいずな書店『古文単語330』 尚文出版『センター過去問題集』 桐原書店『知識問題完全攻略』 Z会『共通テスト分野別対策 ベーシックマスター』 『パワーマックス』 数研『識別マスターノート』 など
単位数	2単位	区分	自由選択				
年次	3年次	形態	少人数				
担当者名	荻野・青木・中西						

学校行事	第1学期	<第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期	木もれ陽祭	<第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期	<第5定期考査>
授業内容	古文文法・漢文句法の復習	考査問題解答と復習	夏季休業期間	古文文法・漢文句法の復習	考査問題解答と復習	冬季休業期間	古文文法・漢文句法の復習	共通テスト直前問題演習	
	問題演習 (古文)ベーシックマスター問題 (漢文)ベーシックマスター問題 文法小テスト 第一定期考査	古文文法・漢文句法の復習 問題演習 (古文)ベーシックマスター問題 (漢文)ベーシックマスター問題 共通テスト過去問題本試験 文法小テスト 第二定期考査 考査問題解答と復習		共通テスト過去問題本試験 文法小テスト 第三定期考査	共通テスト過去問題本試験 パワーマックス問題集(古文・漢文) 文法小テスト 第四定期考査 考査問題解答と復習		個別指導		
定期考査までの授業数	8時間		10時間		8時間		10時間		4時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	○授業に集中して取り組み、意欲を持って授業に取り組むことができたか。 ○授業内容を十分に理解することができたか。 ○古典の総合的な読解力を身につけることができたか。 等を評価の観点とする。 定期考査、小テスト、授業への取り組み状況などにより評価する。
---------------	---

日常の 学習方法	①小テストを通じて、文法・句法・語彙の基礎力をしっかりつける。 ②演習を通じて、読解力を養う。
-------------	--

大学受験や 発展的な内容との関連	2年次までの学習をふまえ、共通テストに対応できる学力をつける。あわせて日本・中国の古典に親しみ、生涯にわたって自他の文化を大切にす精神を涵養する。
---------------------	---